July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

中学校
外国語

美濃・可茂教育事務所

1

# 令和７年度
# 教育課程研究協議会

時 間 １３：００～１６：００
場 所　関市立桜ヶ丘中学校

## 令和７年度　中学校　教育課程研究協議会

＜全体主題＞

指導と評価の一体化を核とした授業改善・
学習改善の在り方

2

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

# 中学校 外国語

美濃・可茂教育事務所

3

# 1 「学習評価」について

（１）学習評価の基本的な考え方

（２）「指導と評価の一体化」

## （１）学習評価の基本的な考え方

【学習評価】

〇教師が指導の改善を図る

〇児童生徒自身が自らの学習を振り返って
　次の学習に向かうことができるようにする

国立教育政策研究所教育課程研究センター(2019)「学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)」

4

## （２）「指導と評価の一体化」

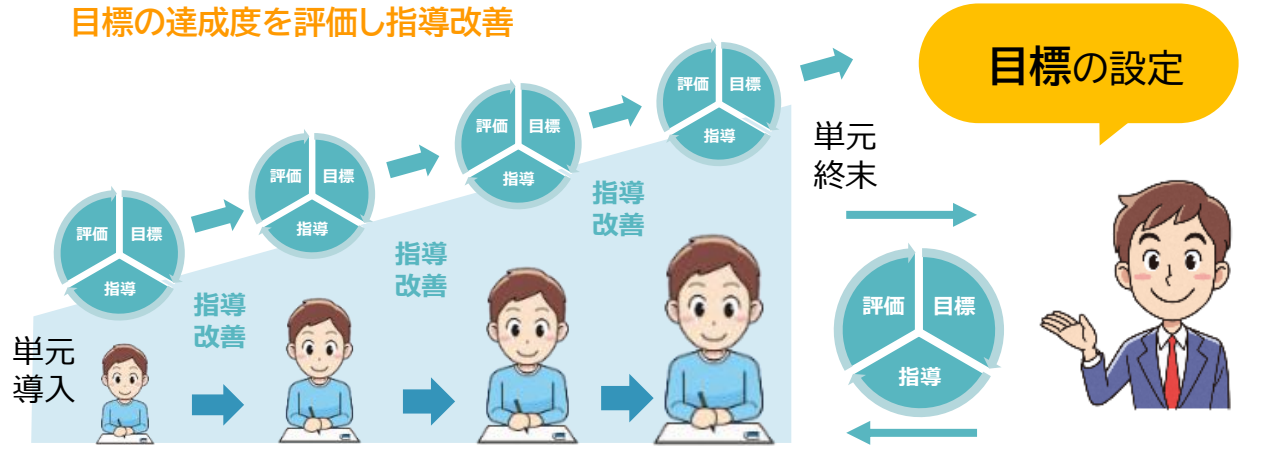
Q：「指導と評価の一体化」とは？

5

## （２）「指導と評価の一体化」

☑ 教師の **指導改善** に
つながるものにしていくこと

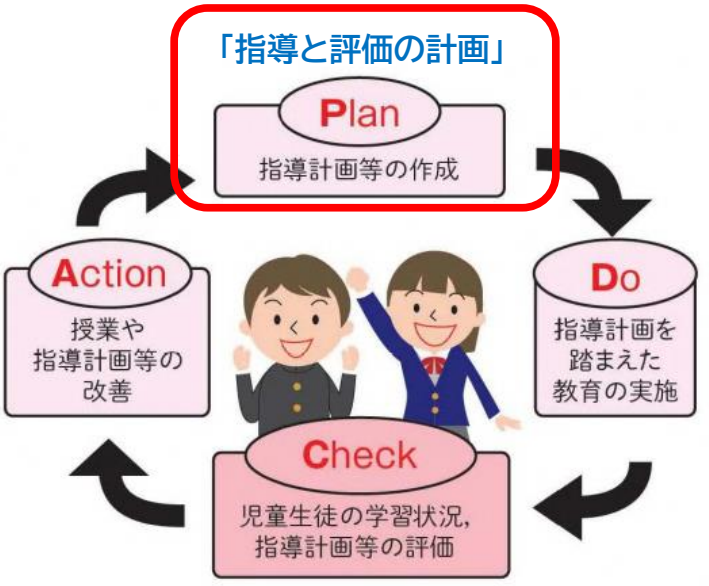
☑ 児童生徒の **学習改善** に
つながるものにしていくこと




益子典文(2023)「単元設計における指導と評価と一体化(2)」(令和5年度「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業リーディング・スクール訪問資料)を基に作成

6

## （２）「指導と評価の一体化」




国立教育政策研究所教育課程研究センター（2019）「学習評価の在り方ハンドブック（小・中学校編）」

7

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

# 中学校 外国語

美濃・可茂教育事務所

## 2 外国語科の授業改善・学習改善

（１）国や県の目標に対する指標

（２）学習到達目標

（３）単元の指導と評価の計画

8

## （１）国や県の目標に対する指標

第４期「教育振興基本計画」(令和５～９年度)
「目標４ グローバル社会における人材育成」

伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度、豊かな語学力、異なる文化・価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力、新しい価値を創造する能力、主体性・積極性・包摂性、異文化・多様性の理解や社会貢献、国際貢献の精神等を身に付けて様々な分野・地域で国際社会の一員として活躍できる人材を育成する。

9

## （１）国や県の目標に対する指標

〇英語力について、中学校卒業段階でCEFRのA１レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル相当以上を達成した中高生の割合の増加　（５年後目標値：６割以上）

〇全ての都道府県・政令指定都市において、中学校卒業段階でCEFRのA１レベル相当以上、高等学校卒業段階でCEFRのA2レベル以上を達成した中高生の割合を５年後までに５割以上にすることを目指す

「第４次岐阜県教育振興基本計画」
CEFRのＡ１レベル相当以上の英語力を有する中学生の割合６０％

10

## （１）国や県の目標に対する指標

### CEFR A１レベル相当の英語力とは？

具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

［出典］ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

11

## （１）国や県の目標に対する指標

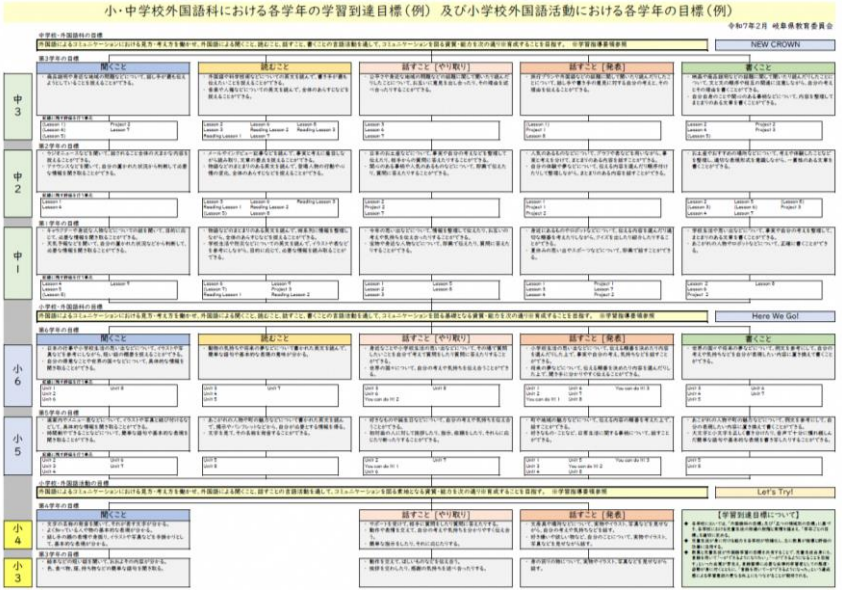
### CEFR A１レベルのスキルとは？

- 日常会話でよく使われる表現や簡単なフレーズを理解し、必要な場面で即座に使用できる。
- 自分や他者の紹介が可能で、住所、持ち物、知人などのプロフィールについて質疑応答ができる。
- 相手がゆっくり明瞭に話してくれて、協力的であれば、簡単な言葉を使って対話できる。

［出典］ブリティッシュ・カウンシルHP

12

# （2）学習到達目標




13

# （2）岐阜県版学習到達目標［例］

**Q1 「学習到達目標」とは何ですか。**

A1 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと［やり取り］」、「話すこと［発表］」、「書くこと」の五つの領域ごとに、また、学年ごとに、「～することができる」という能力記述文で設定された目標のことです。

※外国語科では、学習指導要領において言語「英語」の目標を五つの領域別で示しており、学年ごとの目標を示していません。学習指導要領「指導計画の作成及び内容の取扱い」には、各学校において学年ごとの目標を設定することと記載されています。（「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」、以下「学習評価参考資料」のp.38 参照）

**「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の５つのポイント**

14

## （2）岐阜県版学習到達目標［例］

【根　拠】（中学校学習指導要領 解説 外国語編 p.17）

各学校において作成される学習到達目標は、五つの領域別の目標を踏まえながら、第2の2に記述された、より具体的な言語材料と言語活動を統合して設定されたものにすることが望ましい。

【根　拠】（学習評価参考資料 小学校及び中学校 p.38）

学年ごとの目標及び評価規準の設定

・各学校においては、「教科の目標」及び「領域別の目標」に基づき、各学校における生徒の発達の段階と実情を踏まえ、「学年ごとの目標」を適切に定める。

・五つの領域別の「学年ごとの目標」は、領域別の目標を踏まえると、各々を資質・能力の三つの柱に分けずに一文の能力記述文で示すことが基本的な形となる。なお、五つの領域別の「学年ごとの目標」の設定は、これまでも中学校・高等学校においては「CAN−DOリスト形式」による学習到達目標の作成及び活用として、すでに各学校で行われてきたところである。

「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び
「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の５つのポイント

15

## （2）岐阜県版学習到達目標［例］

Q2 なぜ「学習到達目標」を設定することが大切なのですか。

A2 以下の3つの理由があります。

（1）見通しをもった指導と評価を行うことで、指導改善に生かす。

（2）児童生徒と目標等を共有することで、学習改善に生かす。

（3）校内や校区内の教員と目標等を共有することで、小中7年間を通して資質・能力を育成する。

「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び
「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の５つのポイント

16

# （2）岐阜県版学習到達目標［例］

【根　拠】（各中・高等学校の外国語教育における「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き pp.25-26）

2.「CAN-DO リスト」の形で学習到達目標を設定すると、どのような効果があるのですか。

（答）実際の言語使用場面で言語を使って何ができるかということを見通した指導と評価を行うことができるようになります。例えば、学習到達目標を「簡単な物語文を読んで、概要を口頭で述べることができる」と設定した場合、その目標が達成される可能性を高くするような指導を計画し、実施することになります。したがって、教科書のどの単元をいつ教えるかといった時間軸に沿った指導にとどまらず、目標を達成するために教科書の活用の仕方を工夫しつつ、教科書以外の教材も加えるなどして、言語活動を計画し、授業を実際のコミュニケーションの場とすることができます。（中略）さらに、学習到達目標を設定するにあたって、外国語科担当教員等全員が参加するとともに、目標を設定した後も、実際の授業における言語活動の計画や言語活動を効果的に行うための教材の準備、指導方法や評価方法の共有等にあたって協力し続けることにより、外国語科担当教員等のチームワークや学校としての指導力が高まることも期待されます。また、教員と生徒が外国語学習の目標を共有することによって、生徒自身にも、言語を用いて「～ができるようになりたい」、「～ができるようになることを目指す」といった自覚が芽生え、言語習得に必要な自律的学習者としての態度・姿勢が身に付くとともに、「言語を用いて～ができるようになった」という達成感による学習意欲の更なる向上にもつながることが期待されます。

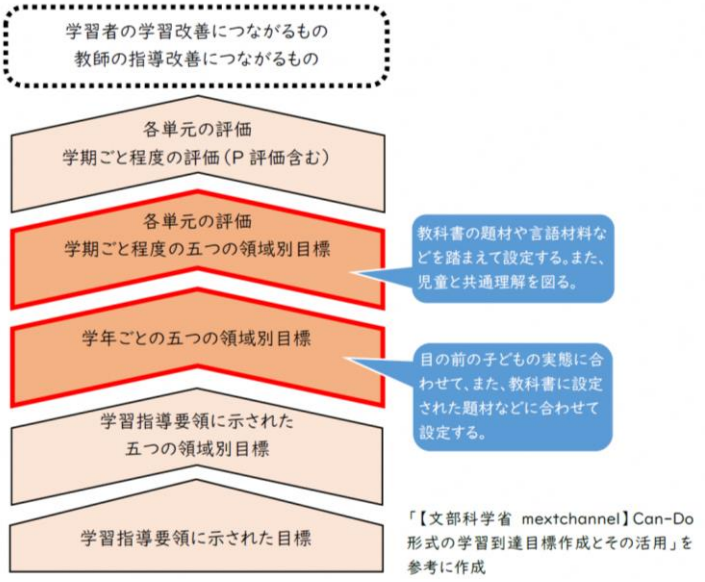


# （2）岐阜県版学習到達目標［例］

Q3　「学習到達目標」は、何を基に設定すればよいですか。

A3　学習指導要領に記されている五つの領域別目標を参考に、目の前の児童生徒の実態と、使用している教科書に扱われている題材や設定されている言語活動などに合わせて、「学年ごとの領域別学習到達目標」を設定しましょう。

## （2）岐阜県版学習到達目標［例］




「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び
「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の５つのポイント

19

## （2）岐阜県版学習到達目標［例］

〇学習指導要領において、各学校における児童/生徒の発達の段階と実情を踏まえ、学年ごとの目標を適切に定めることが求められている。

☞「やらなければいけないんだ。」

〇すでに各学校で設定している学習到達目標との違いを理解する。

☞「意図があって、改善されているんだ。」

〇単元を構想する際、内容のまとまりや単元の中心となる言語活動を考えたり、どの単元で何を記録に残す評価としたりするのかで迷った時の拠り所になる内容になっている。

☞「教材研究の頼りになりそうだ。」

20

# （3）単元の指導と評価の計画

| 評価の進め方 | 留意点 |
| --- | --- |
| 1 単元の目標を作成する | ○ 学習指導要領の目標や内容，学習指導要領解説等を踏まえて作成する。<br>○ 生徒の実態，前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。 |
| 2 単元の評価規準を作成する | |
| 3 「指導と評価の計画」を作成する | ○ 1，2を踏まえ，評価場面や評価方法等を計画する。<br>○ どのような評価資料（生徒の反応やパフォーマンスなど）を基に，「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり，「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。 |
| 授業を行う | ○ 3に沿って観点別学習状況の評価を行い，生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。 |
| 4 観点ごとに総括する | ○ 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから，観点ごとの総括的評価（A，B，C）を行う。 |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

21

# （3）単元の指導と評価の計画

## ① 単元の目標を作成

| 評価の進め方 | 留意点 |
| --- | --- |
| 1 **単元の目標を作成する** | ○ 学習指導要領の目標や内容，学習指導要領解説等を踏まえて作成する。<br>○ 生徒の実態，前単元までの学習状況等を踏まえて作成する。 |
| 2 単元の評価規準を作成する | |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

22

## （３）単元の指導と評価の計画

### ■単元の目標

○友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

〔事例１〕
p. 48

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

23

## （３）単元の指導と評価の計画

### ■単元の目標

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等

○**友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために**、野菜の歴史について書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

〔事例１〕
p. 48

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

24

## （３）単元の指導と評価の計画

〔事例1〕
p. 47

■第3学年の目標(「話すこと[やり取り]」)

○日常的な話題や社会的な話題に関して、聞いたり、読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。

踏まえる

■単元の目標

○友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想などをまとめるために、野菜の歴史について、書かれた英文を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

25

## （３）単元の指導と評価の計画

**学年ごとの学習到達目標**

基本的に「何について（話題）」、「どうすることができる（内容）」の２つを記載する。

**単元の目標**

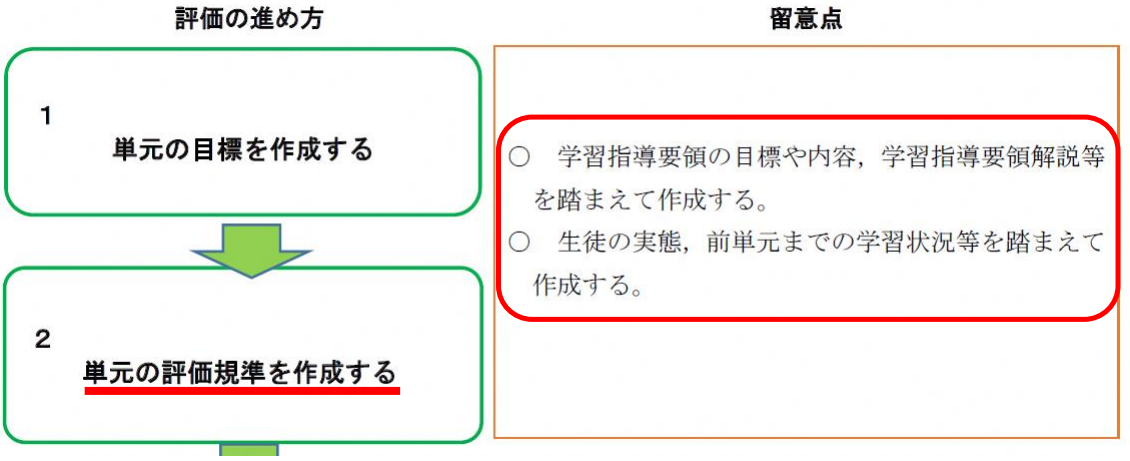
基本的に「何のために（目的）」、「何について（話題）」、「どうすることができる（内容）」の３つを記載する。

「小・中学校外国語科における各学年の学習到達目標（例）」及び
「小学校外国語活動における各学年の目標（例）」を作成する際の５つのポイント

26

# （3）単元の指導と評価の計画

## ② 単元の評価規準を作成




国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

27

# （3）単元の指導と評価の計画

## ■単元の評価規準

〔事例1〕
p. 48

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| ＜知識＞<br>受け身や現在完了形の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。<br>＜技能＞<br>野菜の歴史について考えたことや感じたことなどを、受け身や現在完了形などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 | 友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（野菜の歴史）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合っている。 | 友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、社会的な話題（野菜の歴史）に関して読んだことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合おうとしている。 |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

28

# （3）単元の指導と評価の計画

## ■単元の評価規準

〔事例1〕
p. 48

| 知識・技能 | 思 | 態度 |
|---|---|---|
| ＜知識＞<br>受け身や現在完了形の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。<br>＜技能＞<br>野菜の歴史について、考えたことや感じたことなどを、受け身や現在完了形などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 | 友達の意<br>考えを感<br>社会的な<br>関し<br>合ってい | た自分の<br>ために、<br>歴史）に<br>いて、考<br>などを、<br>て伝え合 |

「英語使用の正確さ」を評価

一体的に評価可能

知識：「理解している」
技能：「使うことができる」



# （3）単元の指導と評価の計画

## ■単元の目標と評価規準

単元ごとの目標及び評価規準の設定

- 単元ごとの目標は，学年ごとの目標を踏まえて設定する。
- 単元ごとの評価規準は，「内容のまとまり（五つの領域）ごとの評価規準」「学年ごとの評価規準」と同様に，単元ごとの目標を踏まえて設定する。
- 単元ごとの目標及び評価規準は，各単元で取り扱う題材，言語の特徴やきまりに関する事項（言語材料），当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面，状況など，また，取り扱う話題などに即して設定することになる。
- 具体的には，「内容のまとまり（五つの領域）ごとの評価規準」を元に，以下のような手順で作成することが可能である。
- これらはあくまで例示であり，より重点化したり，より端的に記載したりすることも考えられる。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば，語順や記載の仕方等は必ずしもこの例示の通りである必要はない。

p. 38

# （3）単元の指導と評価の計画

「知識・技能」　評価規準の表し方（例）

| | |
|---|---|
| 読むこと | ＜知識＞【言語材料】の特徴やきまりに関する事項を理解している。<br>＜技能＞【言語材料】などを活用して、【話題】について【書かれた文等】の内容を読み取る技能を身に付けている。 |
| 話すこと<br>［やり取り］ | ＜知識＞【言語材料】について理解している。<br>＜技能＞【事柄・話題】について、<br>ア　【言語材料】などを用いて、【内容】を即興で伝え合う技能を身に付けている。<br>イ　【内容】を整理し、【言語材料】などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。<br>ウ　聞いたり読んだりしたことについて、【内容】を、【言語材料】などを用いて述べ合う技能を身に付けている。 |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』（pp. 38-42）を基に作成

31

# （3）単元の指導と評価の計画

「思考・判断・表現」　評価規準の表し方（例）

| | |
|---|---|
| 読むこと | 【コミュニケーションを行う目的や場面、状況等】に応じて／するよう、【話題】について<br>ア　【書かれた文等】から、必要な情報を捉えている。<br>イ　【書かれた文等】を読んで、概要を捉えている。<br>ウ　【書かれた文等】を読んで、要点を捉えている。 |
| 話すこと<br>［やり取り］ | 【コミュニケーションを行う目的や場面、状況等】に応じて／するよう、【事柄・話題】について<br>ア　簡単な語句や文を用いて、【内容】を即興で伝え合っている。<br>イ　【内容】を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。<br>ウ　聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。 |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』（pp. 38-42）を基に作成

32

## （3）単元の指導と評価の計画

「主体的に学習に取り組む態度」　評価規準の表し方（例）

| | |
|---|---|
| 読むこと | 【コミュニケーションを行う目的や場面、状況等】に応じて／するよう、【話題】について<br>ア　【書かれた文等】から、必要な情報を捉えようとしている。<br>イ　【書かれた文等】を読んで、概要を捉えようとしている。<br>ウ　【書かれた文等】を読んで、要点を捉えようとしている。 |
| 話すこと<br>［やり取り］ | 【コミュニケーションを行う目的や場面、状況等】に応じて／するよう、【事柄・話題】について<br>ア　簡単な語句や文を用いて、即興で伝え合おうとしている。<br>イ　【内容】を整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。<br>ウ　聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。 |

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』（pp. 38-42）を基に作成

33

## （3）単元の指導と評価の計画

### ③「指導と評価の計画」を作成

3
**「指導と評価の計画」を作成する**

○　1，2を踏まえ，評価場面や評価方法等を計画する。
○　どのような評価資料（生徒の反応やパフォーマンスなど）を基に，「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり，「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

34

# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」

| 時間 | ねらい（■），言語活動等（丸数字） | 知 | 思 | 態 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ■単元の目標を理解する。<br>■教科書の対話文を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①自己目標を設定する。<br>②教科書の対話文を読み，読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>③対話文で使われている未知の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。<br>④英文を引用するための英語表現を学ぶ。（Student A says, “～.” According to student A, …. など）<br>⑤再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>⑥ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | ・自分の考え等を伝える際は，語句ではなく文で伝えさせる。<br>・後日行うパフォーマンステストに向け，「帯活動」で，身近な話題に関する「話すこと［やり取り］」の言語活動（Small Talk）に取り組ませ，相手の話に関わらせたり質問したりさせる。 |
| 2 | ■対話文を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①受け身を使って作成された教科書本文とは別の対話文を読み，引用しながら，考えたことや感じたことを受け身の英文を使ってペアで伝え合う。<br>②再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>③ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | ・第2，3時の学習の振り返りは適宜行わせる。（自己目標の設定や振り返りのさせ方などについては事例5参照） |
| 3 | ■教科書の対話文（第1時で読んだ対話文の続き）を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①教科書の対話文を読み，読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>②対話文で使われている未知の語の意味や現在完了形（肯定文）の構造と意味を理解する。<br>③前時までに学んだ引用方法を確認し，それを意識して再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>④ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | 記録に残す評価は行わない。ただし，ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けていることは毎時間必ず行う。“活動させているだけにならないよう十分留意する。 |
| 4 | ■対話文を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことを伝え合う。<br>①現在完了形（完了用法・肯定文）を使って作成した教科書とは別の対話文を読み，引用などしながら，考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>※②以降は第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 5 | ■教科書の対話文とレポート（第3時で読んだ対話文の続き）を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①教科書の対話文とレポートを読み，引用しながら自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>②対話文等で使われている未知の語の意味や現在完了形（完了用法，否定文・疑問文）の構造と意味を理解する。<br>※③以降は第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 6 | ■対話文や文章を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①現在完了形（完了用法の否定文，疑問文）を使って作成した教科書とは別の対話文や文章を読み，引用しながら考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>※②以降は，第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 7 | ■ピクチャー・カードを使い，受け身や現在完了形などを正しく用いながら，教師やALTに教科書の全ての本文内容について説明する。<br>①ペアになり，相手を教師やALTにみたてて，教科書本文内容についてピクチャー・カードを使いながら説明する。<br>②一人一人が教師やALTに教科書本文内容を説明する。 | ○ | | | ・「住」①，②参照 |
| 8 | ■初見の文章を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたこと，その理由などを伝え合う。<br>①スピーチ原稿を読み，考えなどをペアで伝え合う。<br>②ペアで話した内容を書く。<br>③自己目標の達成状況を振り返り，次の課題を明確にする。 | ○ | ○ | ○ | ・「住」③参照 |
| 後日 | パフォーマンステスト | ○ | ○ | ○ | 本事例「5」参照 |

pp. 50–51



# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」

| 時間 | ねらい（■），言語活動等（丸数字） | 知 | 思 | 態 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ■単元の目標を理解する。<br>■教科書の対話文を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①自己目標を設定する。<br>②教科書の対話文を読み，読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>③対話文で使われている未知の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。<br>④英文を引用するための英語表現を学ぶ。（Student A says, “～.” According to student A, …. など）<br>⑤再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>⑥ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | ・自分の考え等を伝える際は，語句ではなく文で伝えさせる。<br>・後日行うパフォーマンステストに向け，「帯活動」で，身近な話題に関する「話すこと［やり取り］」の言語活動（Small Talk）に取り組ませ，相手の話に関わらせたり質問したりさせる。 |
| 2 | ■対話文を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①受け身を使って作成された教科書本文とは別の対話文を読み，引用しながら，考えたことや感じたことを受け身の英文を使ってペアで伝え合う。<br>②再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>③ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | ・第2，3時の学習の振り返りは適宜行わせる。（自己目標の設定や振り返りのさせ方などについては事例5参照） |
| 3 | ■教科書の対話文（第1時で読んだ対話文の続き）を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①教科書の対話文を読み，読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>②対話文で使われている未知の語の意味や現在完了形（肯定文）の構造と意味を理解する。<br>③前時までに学んだ引用方法を確認し，それを意識して再度，対話文の内容に関して，引用しながら考えや感想などを別のペアで伝え合う。<br>④ペアで話した内容を踏まえ自分の考え等を書く。 | | | | 記録に残す評価は行わない。ただし，ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けていることは毎時間必ず行う。“活動させているだけにならないよう十分留意する。 |
| 4 | ■対話文を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことを伝え合う。<br>①現在完了形（完了用法・肯定文）を使って作成した教科書とは別の対話文を読み，引用などしながら，考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>※②以降は第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 5 | ■教科書の対話文とレポート（第3時で読んだ対話文の続き）を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①教科書の対話文とレポートを読み，引用しながら自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>②対話文等で使われている未知の語の意味や現在完了形（完了用法，否定文・疑問文）の構造と意味を理解する。<br>※③以降は第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 6 | ■対話文や文章を読み，引用するなどしながら，考えたことや感じたことなどを伝え合う。<br>①現在完了形（完了用法の否定文，疑問文）を使って作成した教科書とは別の対話文や文章を読み，引用しながら考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。<br>※②以降は，第3時の③，④と同じ。 | | | | |
| 7 | ■ピクチャー・カードを使い，受け身や現在完了形などを正しく用いながら，教師やALTに教科書の全ての本文内容について説明する。<br>①ペアになり，相手を教師やALTにみたてて，教科書本文内容についてピクチャー・カードを使いながら説明する。<br>②一人一人が教師やALTに教科書本文内容を説明する。 | ○ | | | ・「住」①，②参照 |
| 8 | ■初見の文章を読み，引用するなどしながら考えたことや感じたこと，その理由などを伝え合う。<br>①スピーチ原稿を読み，考えなどをペアで伝え合う。<br>②ペアで話した内容を書く。<br>③自己目標の達成状況を振り返り，次の課題を明確にする。 | ○ | ○ | ○ | ・「住」③参照 |
| 後日 | パフォーマンステスト | ○ | ○ | ○ | 本事例「5」参照 |

観点別学習状況の評価場面
（評価時期）の精選

pp. 50–51

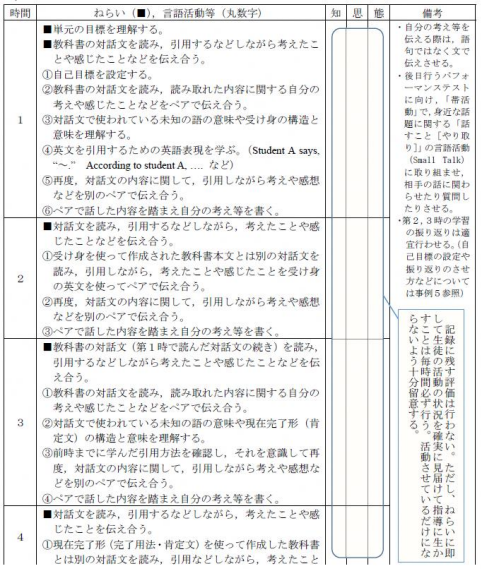
国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

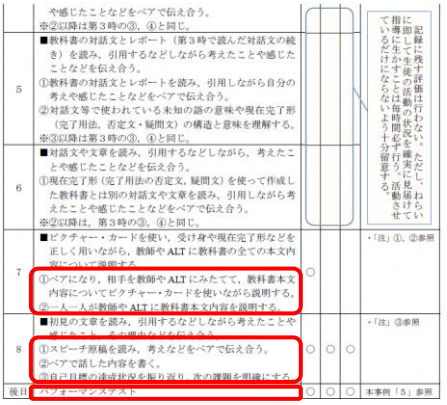
36

18

# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」





評価の場面

pp. 50-51

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

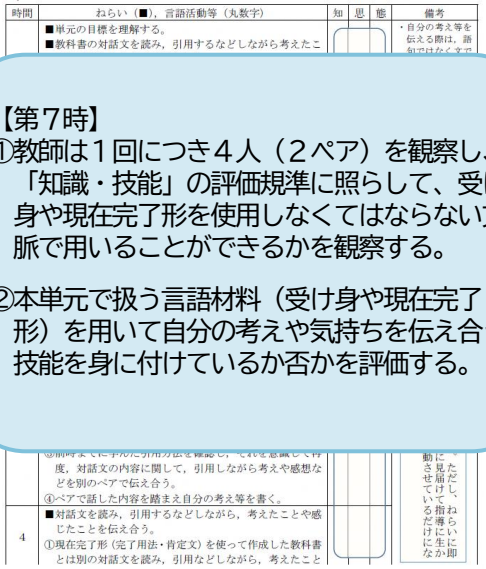
37

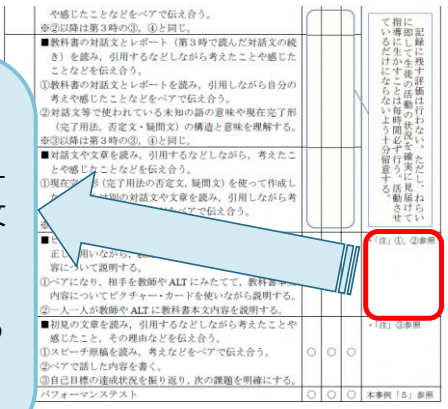
# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」

【第7時】
①教師は1回につき4人（2ペア）を観察し、「知識・技能」の評価規準に照らして、受け身や現在完了形を使用しなくてはならない文脈で用いることができるかを観察する。

②本単元で扱う言語材料（受け身や現在完了形）を用いて自分の考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けているか否かを評価する。





評価の方法

pp. 50-51

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

38

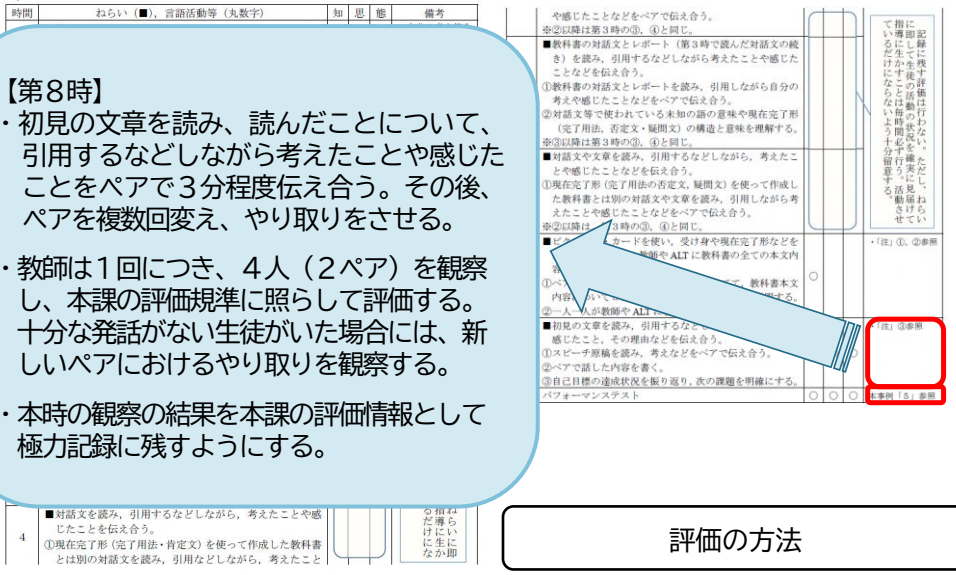
# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」

【第8時】
・初見の文章を読み、読んだことについて、引用するなどしながら考えたことや感じたことをペアで３分程度伝え合う。その後、ペアを複数回変え、やり取りをさせる。

・教師は１回につき、４人（２ペア）を観察し、本課の評価規準に照らして評価する。十分な発話がない生徒がいた場合には、新しいペアにおけるやり取りを観察する。

・本時の観察の結果を本課の評価情報として極力記録に残すようにする。



pp. 50-51

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

39

# （3）単元の指導と評価の計画

「指導と評価の計画」

| 時 | ねらい | 知・技 | 思・判・表 | 態度 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 単元の目標を理解し、教科書の対話文を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 2 | 対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 3 | 教科書の対話文（第1時で読んだ対話文の続き）を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 4 | 対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 5 | 教科書の対話文とレポート（第3時で読んだ対話文の続き）を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 6 | 対話文や文章を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたことなどを伝え合う。 | | | |
| 7 | ピクチャー・カードを使い、受け身や現在完了形などを正しく用いながら、教師やALTに教科書の全ての本文内容について説明する。 | ○ | | |
| 8 | 初見の文章を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合う。 | ○ | ○ | ○ |

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』を基に作成

40

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導

【協議内容】

■話すことの言語活動を通して、言語材料と伝える内容を指導することに当たっては、どのようなポイントに留意すべきですか。

１３：４０ ～ １４：２０　実践交流・グループ協議
１４：２０ ～ １４：３０　全体交流

文部科学省mextchannel(2023)「『話すこと』の指導のポイント　令和５年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて」

41

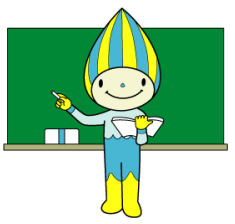
July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

中学校
外国語

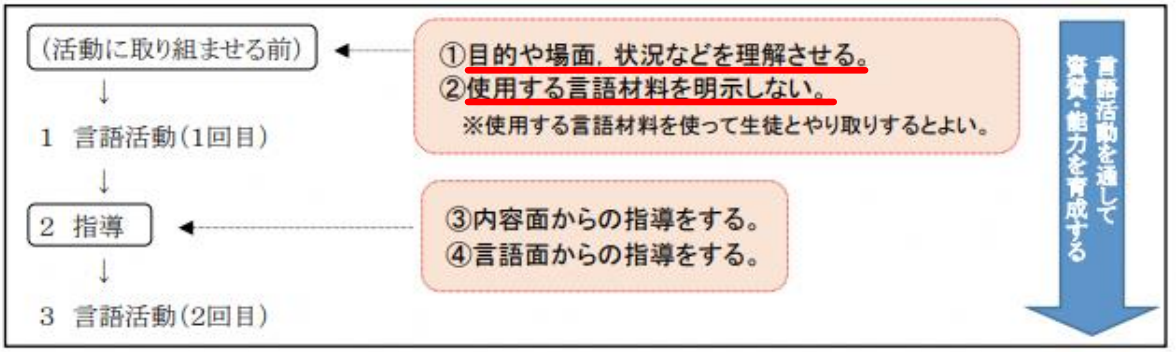
美濃教育事務所

# 【研究協議１】
# まとめ



42

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導

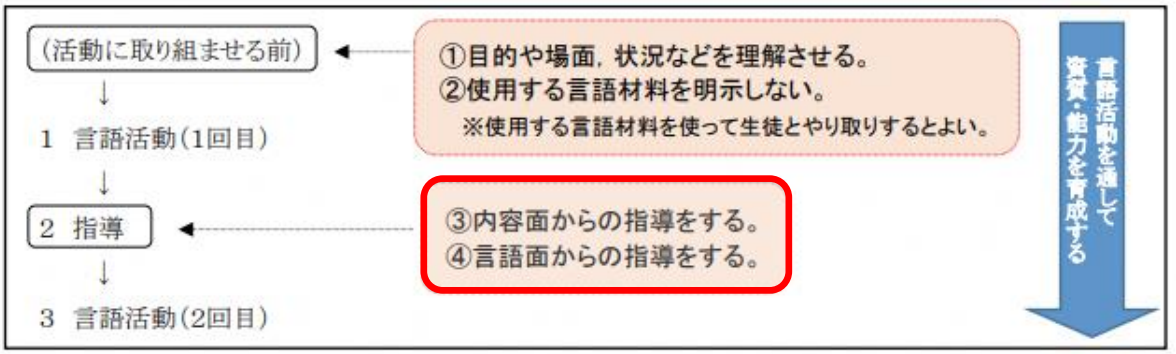


p. 55

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

43

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導



p. 55

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

44

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導

【③，④について】

内容面の指導は，目的や場面，状況などに応じた発話内容になっているかという点から，いずれかの生徒の発話内容を例として取り上げ，何を伝えるとより良くなるかを全員に考えさせたり，目的や場面，状況などに応じた発話をしていた生徒の発話内容を広めたりすることが考えられる。言語面の指導は，生徒の発話を取り上げるなどしながら，単語だけによる発話を文にさせること，語順の誤りを修正させること，日本語での発話を英語にさせることなどを行うことが考えられる。なお，誤りの

p. 55

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

45

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導

【③，④について】

内容面の指導は，目的や場面，状況などに応じた発話内容になっているかという点から，いずれかの生徒の発話内容を例として取り上げ，何を伝えるとより良くなるかを全員に考えさせたり，目的や場面，状況などに応じた発話をしていた生徒の発話内容を広めたりすることが考えられる。言語面の指導は，生徒の発話を取り上げるなどしながら，①単語だけによる発話を文にさせること，②語順の誤りを修正させること，③日本語での発話を英語にさせることなどを行うことが考えられる。なお，誤りの

p. 55

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

46

## 【研究協議１】言語材料と伝える内容の指導

切である。また，上述した内容面及び言語面の指導を１回の指導で全て行うことは時間的に現実的ではないため，生徒の実態や指導の状況を踏まえ指導することの焦点化が必要だと考える。加えて，いずれの指導についても，それらを確実に行うためには意図的な机間指導が必須である。言語活動に取り組んでいる生徒の発話に耳を傾ける際は，漠然とその様子を見聞きするのではなく，生徒の発話の何を聞き取るか，その視点を明確にもつことが大切である。

p. 55

国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価のための一体化」のための学習評価に関する参考資料　中学校外国語』

47

## 【研究協議２】Projectの評価規準を念頭に置いた各単元の指導の在り方

【協議内容】

■パフォーマンステストの課題・採点基準を見て、教科書をどのように扱って指導しますか。

１４：５０ ～ １５：００　個人追究
１５：００ ～ １５：３０　実践交流・グループ協議
１５：３０ ～ １５：４０　全体交流

48

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

中学校
外国語

美濃教育事務所

# 【研究協議２】
# まとめ

49

## 【研究協議２】Projectの評価規準を念頭に置いた各単元の指導の在り方

- ○学期のまとまり［Project］でパフォーマンステストを実施
- ○バックワードデザインで該当単元で指導すべき内容の明確化
- ○単位時間の役割が明確に
- ○教師の出場（でば）が明確に
- ○（目標）と指導と評価の一体化の実現

50

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

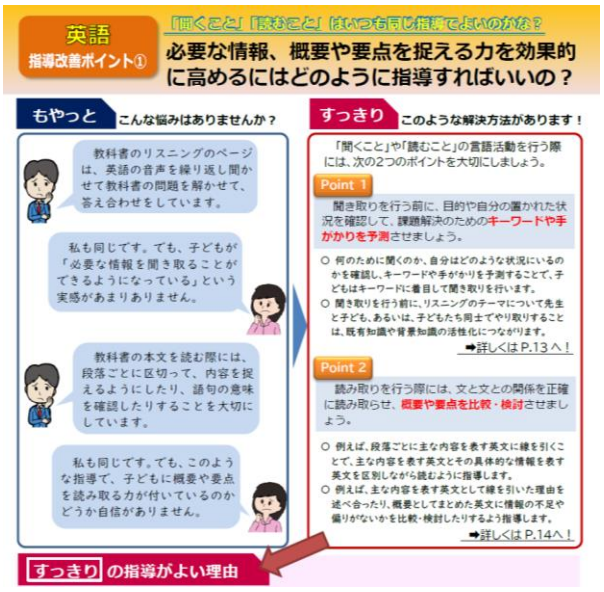
# 中学校 外国語

美濃教育事務所

# まとめ

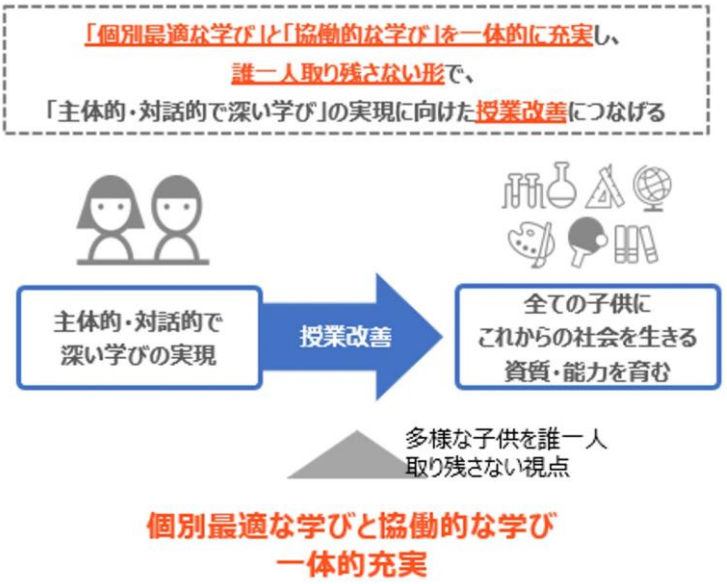
51

## 【参考・紹介】令和５年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導改善資料２０２３



52

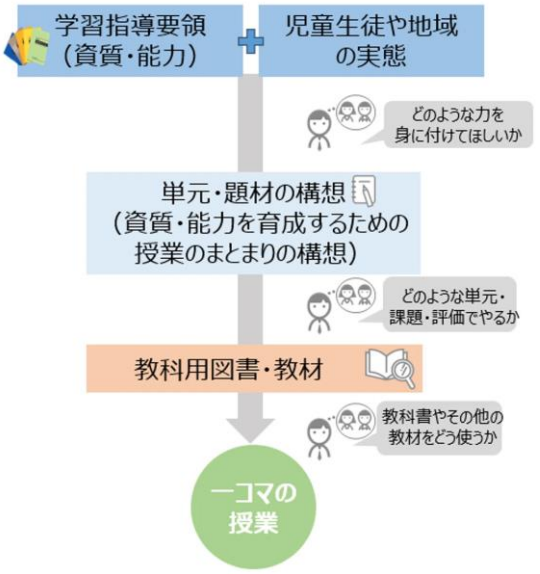
## 【参考・紹介】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』




**【基本編②】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の意義**

53

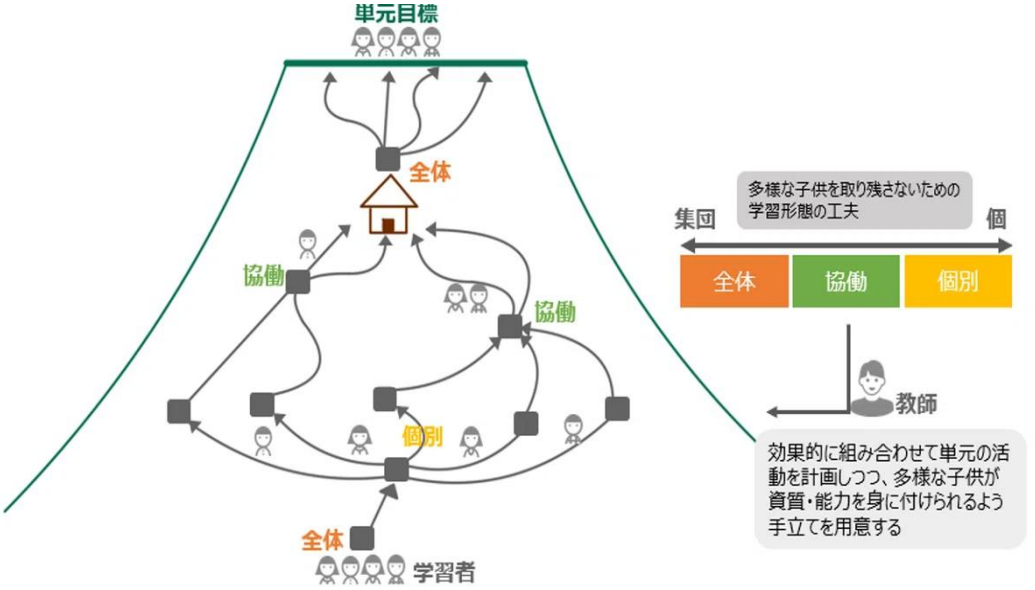
## 【参考・紹介】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』




**【基本編④】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をどのように進めていくのか？**

54

## 【参考・紹介】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』




**【基本編④】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」をどのように進めていくのか？**

55

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

# 中学校 外国語

美濃教育事務所

令和７年度

# 教育課程研究協議会

**下記ＵＲＬもしくは二次元コードから**
**事後アンケートにお答えください。**

https://logoform.jp/form/T8mB/1128084

ご回答いただいた方から終了となります。
お気をつけてお帰りください。
ありがとうございました。

56

July 24th, 2025

令和７年度
教育課程研究協議会

# 中学校
# 外国語

美濃・可茂教育事務所

57

# 令和７年度
# 教育課程研究協議会